

兵庫朝鮮 59年度市リーグチャンピオン

1部に川重神戸、赤塚山クラブ、神高クラブが昇格

58年度神戸市社会人リーグは、1部から3部まで98チームが参加して、昨年4月に開幕神戸市中央球技場を中心に行われ、2月初旬に全日程を終了した。

1部は危げない勝ち方で1シーズンを乗り切った兵庫朝鮮が、9勝1敗の成績で2位ビートルズAに勝点1の差をつけて優勝した。

2部ではA組で川重神戸が1位になり1部へ昇格を決め、B組ではK R & A Cが8勝1分の成績で1位になったが、昇格を辞退したために2位赤塚山クラブが自動的に昇格した。また2部から1部へのチャレンジ戦では、

神高クラブが兵庫教員団Cをやぶり、久しぶりに1部へ帰り咲いた。3部は、7ブロックに分れて行われたが、K F C(C)、コリアンタイガース、北須磨クラブ、マックエルフ、灘F C、かつおぶし、須磨クラブが、各ブロックで1位になり、それぞれ2部への昇格を決めた。

毎年懸念されるのが棄権試合、今年度も1部から3部のチームの間で、年2回棄権したため、リーグ規程により登録抹消されたチームが9チームあった。昨年度よりも多少減ってはいるが、棄権する側も、される側も、またその試合を担当する審判も不愉快であろう。折角の楽しい休日をも有意義なものにするためにも今後気を付けてもらいたい。(3部の結果は次号に掲載します。)

(1部)

順位	チーム名	兵 朝	ビートルズA	ユース	ア-セナルFC	税関	KFC(A)	川重発本	双 和	兵 教(C)	甲 山FC	六甲ビートルズ
1	兵 庫 朝 鮮		C8-2	C6-3	C2-0	■0-5	C6-1	C6-1	C5-2	C5-0	C9-1	C4-2
2	ビートルズ(A)	●2-3		C8-1	Δ2-2	C5-1	●0-2	C1-0	C5-1	C1-0	C8-0	C2-0
3	KFC ユース	●3-6	●1-3		C2-1	C3-1	C8-1	C5-2	●2-4	C8-1	C7-0	C3-1
4	ア-セナルFC	●0-2	Δ2-2	●1-2		Δ2-2	C3-1	C3-1	Δ3-3	C2-1	C4-0	C3-1
5	神 戸 税 関	C5-0	●1-5	●1-3	Δ2-2		●0-3	●0-3	C4-3	C5-1	C7-2	C3-0
6	K F C (A)	●1-6	C2-0	●1-2	●1-3	C3-0		●1-3	Δ2-2	C2-1	C1-0	C2-1
7	川 重 発 本	●1-6	●0-1	●2-5	●1-3	C3-0	C3-1		C2-1	●2-3	C4-0	Δ2-2
8	双 和 クラブ	●2-5	●1-5	C4-2	Δ3-3	●3-4	Δ2-2	●1-2		C4-2	C3-2	●0-1
9	兵庫教員(C)	■0-5	●0-1	●1-2	●1-2	●1-5	●1-2	C3-2	●2-4		C3-1	C4-1
10	甲 山 F C	●1-9	●0-3	●0-7	●0-4	●2-7	●0-1	●0-4	●2-3	●1-3		C5-0
11	六甲ビートルズ	●2-4	●0-2	●1-3	●1-3	●0-3	●1-2	Δ2-2	C1-0	●1-4	■0-5	

(2部Aブロック)

順位	チーム名	川 重 神 戸	神 鋼 本 社	県 庁	高 専	スポーツマン	神 大	市役所(B)	滝 川	リビア
1	川 重 神 戸		Δ2-2	C3-0	Δ0-0	C3-0	C2-1	C3-0	C7-2	●2-3
2	神 鋼 本 社	Δ2-2		C4-1	Δ1-1	C4-1	●1-5	C5-2	Δ2-2	C7-0
3	県 庁	●0-3	●1-4		C2-0	●0-4	C3-2	C5-0	C4-0	Δ2-2
4	神 戸 高 専	Δ0-0	Δ1-1	●0-2		Δ1-1	C2-1	●0-2	C6-0	Δ1-1
5	神戸スポーツマン	●0-3	●1-4	C4-0	Δ1-1		Δ3-3	C3-2	●0-1	C3-2
6	神 大 同 好 会	●1-2	C5-1	●2-3	●1-2	Δ3-3		●0-2	Δ2-2	●5-1
7	市役所(B)	●0-3	●2-5	■0-5	C2-0	●2-3	C2-0		C5-0	C3-2
8	滝 川 クラブ	●2-7	Δ2-2	●0-4	●0-6	C1-0	Δ2-2	■0-5		C5-0
9	リ ビ ア	C3-2	●0-7	Δ2-2	Δ1-1	●2-3	●1-5	●2-3	■0-5	
10	三 菱 F C									(棄権登録抹消)

(2部Bブロック)

順位	チーム名	K R A C	赤 塚 山	神 高	三 菱	ビートルズ	鶴 甲	あ し か び	川 重 西	御 津 Jr	川 建
1	K R & A C		Δ0-0	C3-0	C3-0	C5-1	C4-2	C7-1	C8-0	C7-0	C4-1
2	赤 塚 山 F C	Δ0-0		●1-3	C3-2	C1-0	C5-0	C5-0	C6-1	C1-0	C5-0
3	神 高 クラブ	●0-3	C3-1		Δ2-2	Δ0-0	Δ2-2	C3-2	C4-2	C6-2	C4-0
4	三 菱 電 機	●0-3	●2-3	Δ2-2		C3-0	●2-3	C5-0	C2-0	C2-1	C7-1
5	ビートルズ B	●1-5	●0-1	Δ0-0	●0-3		C4-1	●0-4	Δ1-1	C2-0	C3-0
6	鶴 甲 一 丁 目	●2-4	■0-5	Δ2-2	C3-2	●1-4		C3-2	C2-1	●0-3	C3-0
7	あ し か び	●1-7	●0-5	●2-3	■0-5	C4-0	●2-3		C6-0	Δ4-4	C5-0
8	川 重 西 神 戸	●0-8	●1-6	●2-4	●0-2	Δ1-1	●1-2	●0-6		C2-1	C4-1
9	御 津 Jr	●0-7	●0-1	●2-5	●1-2	●0-2	C3-0	Δ4-4	●1-2		●1-2
10	川 鉄 建 材	●1-4	●0-5	●0-4	●1-7	●0-3	●0-3	●0-5	●1-4	C2-1	

59年度市少年指導者講習会

中級コース 開催される

昭和59年度神戸市少年指導者講習会中級コースは、少年サッカー指導者・初級コース修了者を対象に、昭和60年1月27日から御影工業高校を中心に26名の受講生を得てスタートし、2月11日までに計8回の講習を消化し、無事終了した。

講師には市協会理事長・一北四郎氏をはじめ、市内のJ.F.A.上級コーチが当たり、講義はクラブ運営法や戦術と作戦など多岐にわたり、実技実習では戦術を中心に指導され、非常に内容の濃いものであった。一番受講生の頭を悩ませたのは、実技実習の指導案作り。今まで経験のないことなので作製にかなりの時間を費やしていたようだ。今回の受講で得たことをしっかりと自分のものにし、少年育成に役立ててもらいたい。合格者は以下のとおり。()は所属チーム

1. 浅野 正倫 (ひよどり台)
2. 磯田 征一 (夢野 S C)
3. 金田 貞義 (北五葉 S C)
4. 川下 謙一 (広陵中)
5. 蒲生 克己 (木津 S C)
6. 衣川 勲 (ひよどり台)
7. 呉川 信義 (鈴蘭台西高校)
8. 坂井 一尋 (みさき F C)
9. 丹野 勝由 (多井畑)
10. 中津 武良 (ひよどり台)
11. 中村 幸治 (和田岬)
12. 広部健太郎 (神戸 F C)
13. 福井 元成 (桜の宮 F C)
14. 堀口 和則 (丸山中)
15. 前田日出男 (木津 S C)
16. 松本 重男 ()
17. 丸井 貴雄 ()
18. 森川 和俊 (蓮池 S C)
19. 山崎 哲浩 (夢野 S C)
20. 谷牛 義彦 (木津 S C)
21. 留田 正彦 (北五葉)
22. 新開 英夫 (滝川高)

◇ 講義 ()内は単位時間数

- ・クラブの運営(2)..... (柴田)
- ・少年の指導法(2)..... (黒田)
- ・救急法(2)..... (田中)
- ・戦術と作戦(2)..... (加藤)

敬称略

◇ 実技 ()内は単位時間数

- ・ボールコントロール(2)
- ・戦術(4)
- ・シュート
- ・ヘディング

実技実習には、志賀、加藤、岡の各氏が当たった。

神戸市社会人運営会議予定 次回 4月18日(木)

5月16日、6月20日、7月18日、8月20日、9月19日、10月24日、11月21日、12月19日、1月16日、2月20日、3月13日、20日、いずれも18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10 三木記念神戸市立スポーツ会館内 神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユ-ハイム



1985 1 月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎(078)232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎(078)861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円

新春の神戸に県外チームを招き熱戦を展開

第12回神戸ジュニア ウィンター・フェスティバル

神戸FCジュニア 劇的な優勝

新春恒例の神戸ジュニア・サッカー・ウィンター・フェスティバルは、12回目を迎え、1月4日、5日、6日の3日間、市内6会場を利用して行われた。

神戸市協会と神戸フットボールクラブが主催して行われる同大会は、県内外から中学の部に9チーム、小6の部に16チーム、小5の部に8チームが参加して行われ、中学の部で、神戸FCジュニアが2年連続2度目の優勝を、小6の部で、西日本少年選抜が、小5の部で、御津少年団がそれぞれ初優勝を飾り幕を閉じた。

なお、大会2日目のお昼には、各会場で、地元お母さんたちのお世話で、参加各チームに豚汁が配られ、会場にはなごやかなムードが流れた。



二年連続優勝を遂げた
K F Cジュニアチーム

中学の部…神戸FC・JrA 2年連続V

中学生の部は、灘高を中心に行われた。3チームづつ3組に分かれて一次リーグを戦い、1位同士3チームで決勝リーグ、2位同士、3位同士で順位決定リーグを戦った。

決勝リーグに残ったのは、地元神戸FCと交野FC、愛知FCで、実力伯中の戦いとなった。昨年優勝の神戸FCは、今回レギュラー5人が、神戸市選抜の清水遠征に参加したため、苦しい戦いとなったが、全員の体を張ったプレーで、失点を最少限に抑さえ、効果的な逆襲から得点して、決勝リーグに進出した。

交野は愛知を1-0で破り、交野と神戸が1-1で引き分けたため、優勝は、最終戦の神戸対愛知の試合に持ち込まれた。最終戦は前半、五分五分の戦いから、神戸にあせりが見られたが、後半20分に、ゴール前の混戦から待望の1点を上げ、交野と抽選かと思われた終了3秒前、PKが神戸に与えられ、これを伊藤が冷静に決めて、2年連続2度目の優勝を劇的に飾った。

小6の部…西日本選抜が初優勝



▲小6の部一次リーグ 神戸FCボーイズA対東灘戦

小6の部は、市内少年リーグ上位7チームと神戸FC、市外8チーム、計16チームを4組に分けて一次リーグを行い、各組上位2チ

ームで決勝トーナメント、各組3位で3位トーナメント、4位で4位トーナメントが行われた。

その結果、西日本OBサッカー連盟の指導する西日本少年選抜が、苦戦しながらも勝ち抜き、見事初優勝を飾った。神戸市内各チームも、ベスト8に5チームが入るなど、活躍したが、準決勝で千歳が西日本に、東舞子が交野にそれぞれ敗れた。

小5の部…御津もうれしい初のV

小5の部は、県外より7チームと神戸FC、御津少年団が参加して、A、B、二組に分かれて一次リーグが行われた。A組からは、この大会で常に好成績を上げている松山SSと御津少年団が、B組からは、交野FCと神戸FCが決勝トーナメントに進出した。その結果、決勝では、再度御津と松山が対戦し、一次リーグの劣勢を見事跳ね返した御津が、後半に上げ、初優勝をとげた。

3位決定戦は、地元神戸FCが意地を見せ交野に1-0で勝った。

第12回ウィンター・フェスティバル結果

【中学生の部】

〈一次リーグ〉

A組①神戸FC・A②米子SS③榎原FC
B組①愛知FC②神戸FC・B③神野SC
C組①交野FC②上野FC③灘中

〈決勝リーグ〉

①神戸FC・A②交野FC③愛知FC

〈2位リーグ〉

④上野FC⑤米子SS⑥神戸FC・B

〈3位リーグ〉

⑦神野SC⑧榎原FC⑨灘中

【小6の部】

〈1次リーグ〉

A組①神戸FC②米子(鳥取)③市橋(岐阜)

④東灘

B組①多井畑 ②交野(大阪)③西宮SS④

西神戸朝鮮

C組①千歳②東舞子③枚方(大阪)④津山(岡山)

D組①神野(加古川)②西日本選抜③成徳④ひよどり台

〈決勝トーナメント〉

神戸FC 0-0 優勝
東舞子 3-0 西日本
交野FC 3-0
神野SC 0-0
米子SS 1-0 2位 交野
千歳SC 4-0 3位 千歳
多井畑 0-0
西日本 0-0

(敗者トーナメント記録は略)

【小5の部】

〈1次リーグ〉

A組①松山(愛媛)②御津③米子(鳥取)

④上野(三重)

B組①交野(大阪)②神戸FC③城西(岐阜)④津山(岡山)

〈決勝トーナメント〉

松山SS 3-0 優勝 御津少年団
神戸FC 0-0 2位 松山SS
御津SC 1-0 3位 神戸FC
交野FC 0-0



▲小5の部・3位を確保した神戸FCボーイズB

本紙は右記の店にもあります

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(412)2601
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック、センター街店 ☎078(332)0141

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス

灘区赤坂通7丁目5-14 ☎078(861)8143
(861)4146

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

辰美中学校初優勝 —第4回兵庫県中学新人大会—

第4回兵庫県中学校サッカー新人大会は2月17、24日両日神戸市高倉中学校、竜が台中学校において県下各地区で勝ちぬいてきた8チームによって行われた。結果は淡路の辰美中学校が神戸の山田中学校に4-0と勝ち、初優勝を飾った。

▶決勝(2月24日、竜が台中)

辰美中 4 { 3-0 } 0 山田中

〔評〕

決勝に残った辰美、山田は両チームとも個人技があり、スピードのある好チームでここまで危なげなく勝ち進んできた。

試合は前半開始から辰美がやや押しぎみで進み、まず開始2分辰美のミッドフィルダー斉藤(正典)が中央を30m 独走のドリブルシュートで1点。2点目は前半10分、左ウィング斉藤(正勝)のセンターリングが風にも流され直接ゴール。前半20分にはゴール前で辰美フォワードが庄司、斉藤(正典)とうまづないで最後は斉藤(正勝)がゴール左から見事なシュートを決め3点目。

山田もゴール前で堀川が体をはったドリブルで再三ゴールをねらったが得点にならず、ゲーム終了直前にも辰美がゴール前の混戦か

らダメおしを決めた。(柴田)

第4回兵庫県中学校新人大会結果



第34回 神戸市中学校新人大会 山田中学悲願の初優勝

59年度第34回神戸市中学校サッカー新人大会は、1月20日から2月11日まで六甲中学校を中心とした各会場で熱戦が展開された。

決勝は山田中と太田中の戦いとなり、山田中が1-0と太田中に勝ち、悲願の初優勝をとげた。

▶決勝(2月11日、六甲中)

山田中 1 { 1-0 } 0 太田中

〔評〕

前半17分、山田中堀川が中央をスピードにのったドリブルから出したスルーパスを走り込んだFWがシュート、結局これが決勝点となった。

決勝まで太田中はパスをつないで相手をくずしてきたタイプであるが、山田DF陣は太田のパスコースをよく読み、中盤でもフリーにさせず攻撃のリズムをつかまなかった。

太田中はいつものようにいかに時にちょっと頭を切り換えて強引な事もしてみる柔軟性があればもう少し違った展開になったかもしれないと思われる。(市川雄一)

第34回市中学新人大会結果



全日本女子選手権大会 組み合わせ決まる!!

全日本女子選手権は、3月28日より3月31日まで東京・西が丘サッカー場を中心に地区予選を勝ち抜いた16チームで争われる。関西地区からは高槻女子FC、西山高校、神戸FCレディースが出場、本大会での活躍を期待したい。

第6回全日本女子サッカー選手権大会 組み合わせ



第2回関西女子大会 福住小が初V



日本サッカーに ルネサンスは起こるか?(19)

枚方FC 近江 達

人によって意見や考え方は違って当たり前。違うからこそ自分の意見を主張し、話し合い、歩みよる。これが欧米の考え方だ。それに比べて、自己主張の下手な日本人のなんと幼稚なことか。そして、サッカーは、精神的に大人になってこそ完成できるスポーツなのだ。

自我とコミュニケーション

ドイツへ行って、最初はチームにとけこむことが第一だったし、遠慮もあったし、「パスを出せ」と言われたら、何も考えずに言われたとおりにしていたので、よく、「自分でやれ」と言われた。言われてやるんじゃないで、自分の考えているプレーをしるってことですね。今は自分の考えをとおすようになった。やっぱり自我というか、自己主張がないとダメですね。西独プロ第一号 奥寺選手

欧米の選手はいつも元気浚刺として闘争的だ。日本選手でも日本人同士の試合では、決してファイトがないなどとは思わなくても、ひとたび外人との試合になると、どうも大人しく控え目にプレーしているように見えて仕方がない。そのため国際試合になると、決ったように記者やサポーターがいら立て、「なぜもっと思う存分暴れまわらないんだ。ファイトだ、精神力だ、格闘しろ、」と切歯扼腕、悲憤慷慨することになってしまう。

だが——これは技術戦術などを除外した全く仮空の話だが——日本選手がもっと闘志を燃やして、もっと激しくラフに戦いさえすれば満足できる結果が得られるのか、と言うと、たぶん、そうはならないだろう。

というのは、じつと目を凝らして観察していると、闘志をむき出して相手に情容赦なくぶち当たり絡みつき、また絡みつく相手を振り払いかきわけて激しくプレーしている欧米選手が、決してそれだけではないからである。彼らは同時にたえず頭を働かせ休みなく目を動かして、次はこうしてやろうと積極的に計画し、次から次へためらうことなく行動しており、アイディアとか行動の内容は伏せて、積極性と密度だけ取りあげても、何となくプレーしがちな日本選手をはっきり凌駕しているし、「自分が何をしたいか、チームメイトにどうして欲しいのか」ということをはっきり言葉と態度で示して、自分の全能力を発揮しつつくことも、チームメイトのそれを認めて充分発揚させる能力も、みな明らかに我々より優れていることがわかるからである。

普通、そうしたプレーや積極性は、戦術レベルを向上させて勝利の意欲や闘争心が強くなれば、自然にできるようになるものだと思うられている。

自己主張の少ない日本選手

たしかにその辺を改善すれば差は縮まるに

はちがいがない。でもそれだけでは限界があり、それ以上縮めるにはほかの要素と努力がいると私は考えている。

理由は、一口に言えば、国民性の違いである。彼らには我々にないたくましい自我があり、強烈な自己主張、自己表現が巧みにできるとい特徴があって、それが彼等のサッカーをかなり違ったものになっているからである。自我とか自己主張というと、日本ではすぐにエゴイズムと結びつけられるので困る。

たしかに欧米選手でもそのために個人主義的プレーに走ることはあるけれども、一流プロだとさすがにそんなことはなく、すべて良い方向に働き、勝利への意志と結びついて、いっそう激しく意欲満々にみえるわけである。彼らに比べると日本選手ははつきりせず物足りない。もともとわが国には、「克己」とか「我が強い」などの言葉のように、自我や自己主張は悪いものという先入観があり、とくにチームスポーツでは悪玉扱いされてきたので止むを得ないことではあるが、奥寺選手が語ったとおり、自己主張が弱くて拙い。第一その出所になる自我そのものの影が薄い。

それに、最近の選手は個性に乏しく、スケールが小さくて幼い感じを受ける。一流どころでさえ、私のように見わけ能力が低いと、誰を見ても同じように映ってしまう。

自我と個性は切り離せない関係にあるが、サッカーが強くなるには、技術戦術の向上もさることながら、もっとしっかりと自立して、いわゆる大人になる必要があると思う。

大切なのは中身

日本人には自分の考えなんてない。日本の将来はどうか。首相、党首、誰に聞いたってわからない。向うはとにかく「リッスン・トゥー・ミー」、私の言うことを聞いてくれ、でしょう。日本人なら、喧嘩腰くらしいの調子でちょうどいい。

——木村尚三郎——

もっとも、子供っぽいのはサッカー選手に限らず最近の若者たち全体がそうなのだ。が、能力はないわけではなく、非常に優れたところもある。とくに世渡りのな面など、幼い頃からテレビやマスコミに教育され、種々雑多な刺激が氾濫する中で大きくなったせいとか、とても利口である。

利害にさくく、僅かな損得でも計算して行動する抜け目なさなど大したもので、自分本位で何かにつけて自分を売りこむ。たとえば、せいぜい一つ二つのスポーツを、ほんの少しかじった程度でも、「スポーツなら、いちおう何でも出来ます」などと自信あり気な言い方をする。

昔は間違ってもそんなことは言わなかったのだが、若者たちは謙譲の美德なんてまるっきり知らないで育ったために、入社試験の面接でもこの手の誇大広告がざらで試験官は

この連載は、雑誌サッカー・ジャーナルに連載されている枚方FCの指導者、近江達氏の随想をサッカー・ジャーナルのご好意で転載しております。

「日本サッカーの発展のためにはルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要である」と、近江氏はいうが……。



うんざりするらしい。

日本人も変わったものだ。これからまだまだ変わるだろう。どうせ変わるのなら、いい方に変ってもらいたいものだが、私がこれからのサッカー選手に望んでいるのが自己主張は、そんなミーイズム(USAの若者の間に拡がっている自己欲望中心の私優先主義)的PRではない。

本当に必要なことを、必要なときに、他にしている自己主張する、ということになると、彼ら若者もやはり若手らしく、その点は今までの日本人と大して変りがない。

高校生など仲間うちでダベルことは違者なくせに、改まるもログに話せないものが少なくない。マスコミの受け売りでない自分自身の考えとか感想を、誰にでもわかるようにキチンと話せるものの人数となると、果して全体の何パーセントいるか、スポーツマンにはとくに少ないのではないだろうか。

外に出すには、出すに価するものがないといけなないし、表現には技術もいる。付和雷同や、流行だからそうする、というのではお話にならない。中がガランドとか、しっかりした芯のない人間がつまらぬことを喋ったり、しっかりしていて自分の思考を持ていても、粗野で口の利き方も知らぬようでは、自己主張といえるほどのものにはならない。

芸術やスポーツという自己主張、自己表現は、まず第一に、自我がしっかり確立していて、考えなり思いなり、自分自身のものを持っていることが前提になる。

サッカーだと、何となく言われるまま、流れのままにプレーするだけではダメだし、いくらいことを思いついても、ある程度以上のスキルがないと実現できない。

いい意味で、人は人、自分は自分といった主体性が必要である。自我のしっかりした選手が、借りものではなく自分自身の頭脳で考え判断工夫し、そのアイディア、意図を技術によって実現しようとしてこそ、自己主張になるわけで、そこにおのずと個性が浮び出てくるはずである。



神戸市新人大会決勝・山田中対太田中より
(2月11日、六甲中学グラウンド)

充実のモルテン Tango
サッカー界の新しいスタンダード

MTSAD official color and weight
molten
Selected cow-hide
Made in Japan

Official FIFA World Cup design
Tango

株式会社 **モルテン**
広島 / 東京 / 大阪 / 名古屋 / 福岡 / 札幌

明日の栄光を勝ちとれ!

markam®

80年代をリードする
サッカーウェア

マーカム33
標準小売価格 ¥8,000

younger®

MONTBLANC リアル・スポーツの追求
モンブラン株式会社
神戸・東京・福岡